

DELTA *Direct*

MOTOLED
HEAD

COLORS

取扱説明書

MOTO LED ヘッドライト専用 2000Lm

目次

▶ H4/HS1・・・P2～3

▶ H7・・・P4～5

■ MOTO LED ヘッドライト専用 2000Lm

● H4・HS1 HI/LOW

▲ 警告 -CAUTION-

- ▶ 点灯直後、ガラス管は破損しやすくなっています。十分に冷ましてからお取扱いください。
- ▶ 装着前に必ず、後方スペースが必要となりますので事前にご確認ください。
- ▶ 装着後、防水処理が十分であるかご確認ください。
- ▶ 走行中に本製品、及びライトユニットなどが脱落や破損しないように十分ご注意ください。

お客様へ

- 本製品はDC12V車専用です。DC12V以外の車両には使用しないでください。
- 本製品の取り付けは専門の技術と経験が必要です。安全のために必ず整備工場や2輪車電装品取扱店にて取り付けを行ってください。
- 本製品の取り付けは取扱店様にて取り付け可否を確認いただいた上で取り付けを行ってください。車種によっては取り付けできない場合があります。
- 本製品を使用中に不具合が発生した場合、速やかに使用を中止し純正指定のバルブへお戻しください。
- 取り外した純正バルブは大切に保管してください。

取扱い・取り付け店様へ

- 本取扱い説明書は製品取り付け後にお客様へお渡しください。

ご使用上の注意

- 停車時の連続点灯は避けてください。また、本製品はハロゲンバルブやHIDに比べて発熱量が少なくなっていますので、ヘッドライトに雪などが付着しても溶けない場合があります。
- 本製品を取り付け後、対向車を眩惑させないように、必ず、灯具の光軸調整を行ってください。

構成部品 取り付け前に必ず部品内容をご確認ください。

● バルブ×1



● 本製品は12V直流に対応しています。交流車への取り付けはできません。対応外の電圧でご使用いただいた場合突入電力が発生し、本製品を破損する事があります。

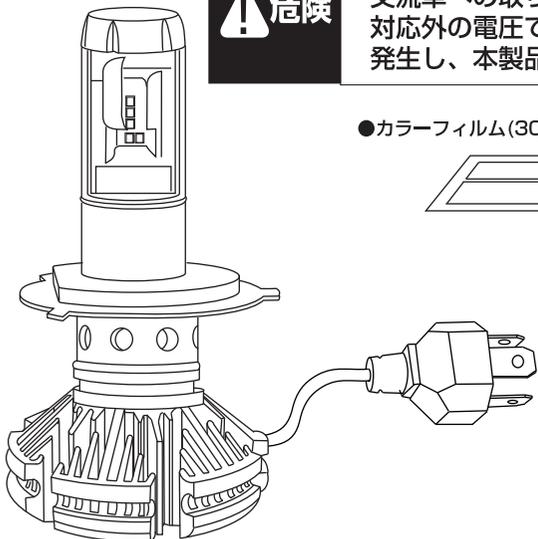
● カラーフィルム(3000K:イエロー/6700K:ブルー)



● 本紙取扱い説明書 ×1

▲ 危険 ▲ 感電注意 分解禁止

- 電源スイッチがONの場合は本体及びコード等には絶対触らないでください。
- 絶対に本体及びコード等に加工を加えたり、分解しないでください。
- 車両のバッテリー ⊖ ターミナルを必ず外して、各コネクタ、バルブ等を脱着してください。
- 回路やハーネス等は絶対に改造しないでください。
- テスター等による回路診断を行わないでください。



バルブの調整

以下のような照射になるように調整してください。



● ロービーム
カットオフライン

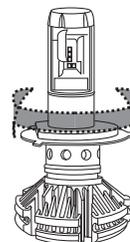
▶ 壁を照射させると、カットオフラインが確認できます。



● ハイビーム

▶ 壁を照射させると、光が中心の集まり楕円状になります。

● 以下の手順で発光面を調整します。



回転:
角度調整

▲ 注意

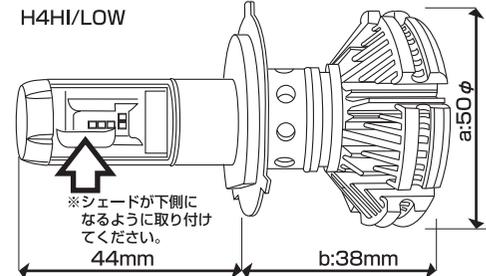
- ※調整作業の際にフランジの脱着が必要になります。フランジ部分を持ちバルブ本体をひくとロックがはずれて分離できます。
- ▶フランジ根元のピロボールで固定されますので、角度調整してください。
- ▶発光色、3000Kまたは6700Kでのご使用場合は発光部ガラス管をおおうようにフィルムを貼ってください。

● 付属のカラーフィルムで発光色を変更する際は、道路交通法や車検の事を販売店様などにご相談いただき接触しないようにご注意ください。
※前照灯の保安基準は灯光色が「白色及び淡黄色」から「白色のみ」に改訂となり、平成18年1月1日以降の生産車両の灯光色は「白色のみ」となり、平成17年12月31日以前の生産車両の灯光色は「白色及び淡黄色」で保安基準を満たします。また、前照灯はすべてが同一の灯光色でなければなりません。

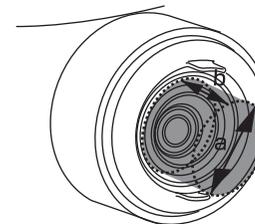
取り付けに必要なライト後部クリアランス

バルブユニットサイズ (フランジ～前部・後部)

H4HI/LOW



バルブヒートシンク部直径: a-50φ
バルブヒートシンク部長さ: b-38mm



- ・バルブ開口にランプハウジング形状に突起や凹凸がない。
- ・ランプ後部に a, b のスペースがある。

取り付けに必要な工具

一般工具・ビニールテープ・結束バンド

取り付け前に点灯確認

使用パーツを簡易接続しシステム全体の作動(正常点灯)を確認後パーツの取り付け(設置)を確実に行ってください。
※各パーツ並びにシステムが正常作動する事を事前に確認する事で、作業の安全性とトラブルを未然に防ぐために必ず実行してください。

お取り付け上の注意 ※装着前に必ずご確認ください。

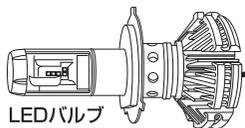
- 本製品バルブ取り付け前に、バルブ取り付け面と車体側の奥行き・幅などのスペースがない車両にはご使用できません。
- 本製品の取り付け作業後に各電装品(ランプなど)が正常に作動するかご確認ください。
- ボルト・ナットの締めつけは規定のトルクで行ってください。
- 車両、及び本製品のコネクタ脱着の際はコネクタ本体を持ち確実に行ってください。接続不良の原因となります。
- 配線の取り回しは純正配線に沿ってまとめ、急角度に折り曲げたり結束バンドなどで強く縛らないでください。断線の原因となります。
- 車両配線やバルブ本体、配線等を強く引っばらないでください。● LEDバルブの発光部分には触れないでください。

■ MOTO LED ヘッドライト専用 2000Lm

● H4・HS1 HI/LOW

取り付け説明書

1.ハーネス接続図



LEDバルブ
※シェードが下側になるように取り付けてください。

LEDユニットをランプに取り付ける前に、簡易接続して点灯確認してください。点灯確認を行わず発生したトラブルに関しましてはクレームの対象外となります。

※点灯確認は10秒以上行わないでください。点灯したバルブは直視しないでください。バルブは点灯中・直後は高温になっているためヤケド等のおそれがあります。冷ました上で取り付け作業を行ってください。

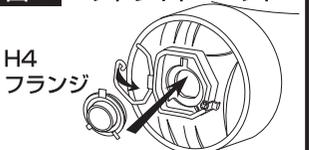
車向純正
カプラーへ

危険

- 余分な配線を束ねる際に強くしめ過ぎてコードの被覆に損傷をあたえないように調節してください。
- ハーネスは可動部や高温部を避けてとりまわしてください。

3.LEDユニット取り付け方法 ※イラスト及び、説明文章は1灯分となります。もう一方も同様の作業で行ってください。

図1 ヘッドライトユニット



H4
フランジ

危険

フランジ部分がずれたり、しっかり固定できていないと、バルブが脱落したり、光量・配光が正常にならず、保安基準を満たさない場合があります。

(1)サービスマニュアルを参照し車体からランプを取り外し、バルブのカプラー・ノーマルバルブを取り外します。

※取り付け作業に十分なスペースが確保できている場合はヘッドライトユニットを取り外す必要はありません。

※取り付け作業は車両によって異なりますので整備解説書に従ってください。

(2)左の図1をご参照のうえ、ヘッドライトユニットにフランジ部分を取り付けてください。

※LEDバルブからフランジ部分を取り外す際は本紙、表面の**バルブの調整**に従って取り外してください。

(3)下の図2をご参照のうえ、LEDユニットを取り付け、バルブのカプラーを接続します。

※本紙、表面の**バルブの調整**に従って配光を調整してください。

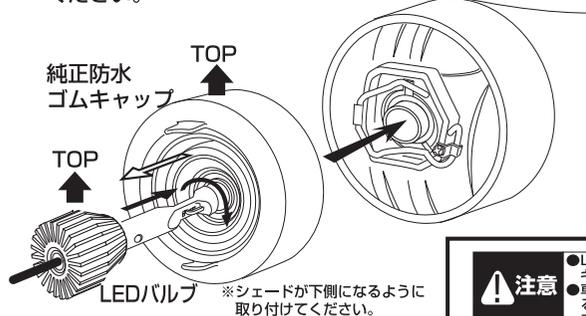
(4)ランプユニットを取り外した逆の手順で車体に取り付けます。

図2 TOPの位置を確認し、純正防水ゴムキャップ・LEDバルブを取り付けます。

※純正防水ゴムキャップは形状によって加工(カット)する必要があります。純正防水カバー加工方法をご参照ください。

※LEDバルブは

- ・防水ゴムパッキンがねじれていないか確認してください。
- ・ガイドに沿ってフランジに挿入し、右へまわしてロックさせてください。
- ・発光部分に触れないように作業してください。万が一、触れたり、汚れが付着した場合はアルコールなどでふき取ってください。



純正防水
ゴムキャップ

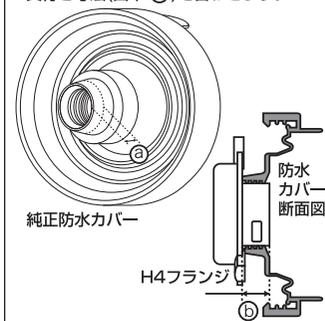
TOP

LEDバルブ

※シェードが下側になるように取り付けてください。

純正防水カバー加工方法

- 1.防水カバーの差し込み口(図中①)を5mm程度カットします。
- 2.フランジ後部に防水カバーを差し込み奥行き寸法(図中②)を合わせます。



純正防水カバー

H4フランジ

防水
カバー
断面図

注意

- LEDバルブの取り付けは慎重に作業を行ってください。ランプをキズつけたり、LEDバルブを破損してしまうおそれがあります。
- 車種により本製品、及び純正部品等に多少の加工が必要となる場合があります。加工後の返品・クレーム等はお受けできませんので、加工の際は慎重に作業を行ってください

4.最後に

(1)上記のハーネス配線図を参照し配線を接続し点灯テストを行い正常である事を確認してください。



株式会社 デルタ

〒552-0007 大阪市港区弁天2-2-17
TEL.06-6572-4433 FAX.06-6572-4434

■ MOTO LED ヘッドライト専用 2000Lm

●H7

▲警告 -CAUTION-

- ▶点灯直後、ガラス管は破損しやすくなっています。十分に冷ましてからお取扱ください。
- ▶装着前に必ず、後方スペースが必要となりますので事前にご確認ください。
- ▶装着後、防水処理が十分であるかご確認ください。
- ▶走行中に本製品、及びライトユニットなどが脱落や破損しないように十分ご注意ください。

お客様へ

- 本製品はDC12V車専用です。DC12V以外の車両には使用しないでください。
- 本製品を自動車以外やコーナリングランプなどに使用しないでください。
- 本製品の取り付けは専門の技術と経験が必要です。安全のために必ず整備工場や2輪車電装品取扱い店にて取り付けを行ってください。
- 本製品の取り付けは取扱い店様にて取り付け可否を確認にいただいた上で取り付けを行ってください。車種によっては取り付けできない場合があります。
- 本製品を使用中に不具合が発生した場合、速やかに使用を中止し純正指定のバルブへお戻しください。
- 取り外した純正バルブは大切に保管してください。

取扱い・取り付け店様へ

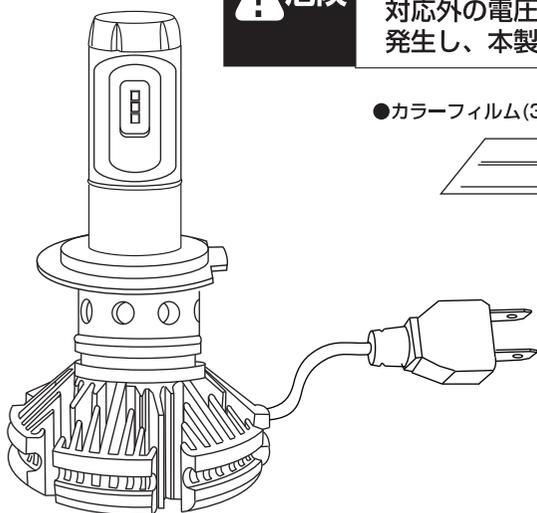
- 本取扱い説明書は製品取り付け後にお客様へお渡しください。

ご使用上の注意

- 停車時の連続点灯は避けてください。また、本製品はハロゲンバルブやHIDに比べて発熱量が少なくなっていますので、ヘッドライトに雪などが付着しても溶けない場合があります。
- 本製品を取り付け後、対向車を眩惑させないように、必ず、灯具の光軸調整を行ってください。
- 本製品は保安基準の性能要件を満たした製品ですが、純正バルブと異なった光に見えることや車両ヘッドライトのリフレクターの状態やバッテリー電圧の低下などの要因、または地域の検査員によっては車検に通らない事があります。

構成部品 取り付け前に必ず部品内容をご確認ください。

●バルブ×1



▲危険

- 本製品は12V直流に対応しています。交流車への取り付けはできません。対応外の電圧でご使用いただいた場合突入電力が発生し、本製品を破損する事があります。

●カラーフィルム(3000K:イエロー/6700K:ブルー)



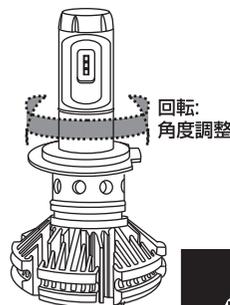
●本紙取扱い説明書 ×1

▲危険 ▲感電注意 分解禁止

- 電源スイッチがONの場合は本体及びコード等には絶対触らないでください。
- 絶対に本体及びコード等に加工を加えたり、分解しないでください。
- 車両のバッテリー⊖ターミナルを必ず外して、各コネクタ、バルブ等を脱着してください。
- 回路やハーネス等は絶対に改造しないでください。
- テスター等による回路診断を行わないでください。

バルブの調整

- 以下の手順で発光面を調整します。



※調整作業の際にフランジの脱着が必要になります。フランジ部分を持ちバルブ本体をひくとロックがはずれて分離できます。

- ▶フランジ根元のピロボールで固定されますので、角度調整してください。

- ▶発光色、3000Kまたは6700Kでのご使用場合は発光部ガラス管をおおうようにフィルムを貼ってください。

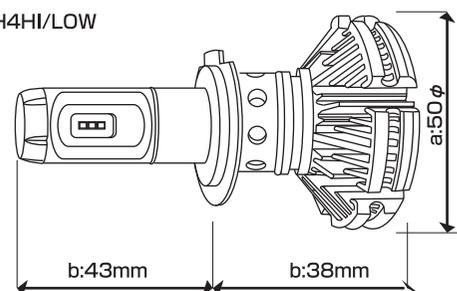
▲注意

●付属のカラーフィルムで発光色を変更する際は、道路交通法や車検の事を販売店様などにご相談いただき抵触しないようにご注意ください。
※前照灯の保安基準は灯光色が「白色及び淡黄色」から「白色のみ」に改訂となり、平成18年1月1日以降の生産車両の灯光色は「白色のみ」となり、平成17年12月31日以前の生産車両の灯光色は「白色及び淡黄色」で保安基準を満たします。また、前照灯はすべてが同一の灯光色でなければなりません。

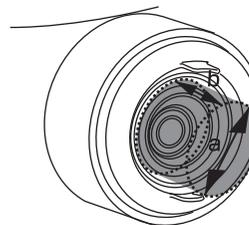
取り付けに必要なライト後部クリアランス

バルブユニットサイズ (フランジ～前部・後部)

H4HI/LOW



バルブヒートシンク部直径: a-50φ
バルブヒートシンク部長さ: b-38mm



- ・バルブ開口にランプハウジング形状に突起や凹凸がない。
- ・ランプ後部に a, b のスペースがある。

取り付けに必要な工具

一般工具・ビニールテープ・結束バンド

取り付け前に点灯確認

使用パーツを簡易接続しシステム全体の作動(正常点灯)を確認後パーツの取り付け(設置)を確実に行ってください。
※各パーツ並びにシステムが正常作動する事を事前に確認する事で、作業の安全性とトラブルを未然に防ぐために必ず実行してください。

お取り付け上の注意 ※装着前に必ずご確認ください。

- 本製品バルブ取り付け前に、バルブ取り付け面と車体側の奥行き・幅などのスペースがない車両にはご使用できません。
- 本製品の取り付け作業後に各電装品(ランプなど)が正常に作動するかご確認ください。
- ボルト・ナットの締めつけは規定のトルクで行ってください。
- 車両、及び本製品のコネクタ脱着の際はコネクタ本体を持ち確実に行ってください。接続不良の原因となります。
- 配線の取り回しは純正配線に沿ってまとめ、急角度に折り曲げたり結束バンドなどで強く縛らないでください。断線の原因となります。
- 車両配線やバルブ本体、ドライバーの配線等を強く引っばらないでください。●LEDバルブの発光部分には触れないでください。

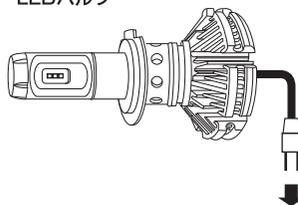
■ MOTO LED ヘッドライト専用 2000Lm

●H7

取り付け説明書

1.ハーネス接続図

LEDバルブ



LEDユニットをランプに取り付ける前に、簡易接続して点灯確認してください。点灯確認を行わず発生したトラブルに関しましてはクレームの対象外となります。
 ※点灯確認は10秒以上行わないでください。点灯したバルブは直視しないでください。バルブは点灯中・直後は高温になっているためヤケド等のおそれがあります、冷ました上で取り付け作業を行ってください。

危険

- 余分な配線を束ねる際に強くしめ過ぎてコードの被覆に損傷をあたえないように調節してください。
- ハーネスは可動部や高温部を避けてとりまわしてください。

3.LEDユニット取り付け方法 ※イラスト及び、説明文章は1灯分となります。もう一方も同様の作業で行ってください。

図1 リフレクターに対する照射方向



ランプユニット

●本紙、表面の**バルブの調整**に従って発光面を調整。

- (1) サービスマニュアルを参照し車体からランプを取り外し、バルブのカプラー・ノーマルバルブを取り外します。
 ※車両によって異なります整備解説書に従ってください。
- (2) 左の図1をご参照のうえ、灯具のリフレクターに合わせてLEDバルブ発光面を調整してください。
 ※下の図2をご参照のうえ、照射光が純正バルブと同じ配光になるように調整してください。
- (3) LEDユニットをノーマルバルブと同様に取り付け、バルブのカプラーを接続します。
- (4) ランプユニットを取り外した逆の手順で車体に取り付けます。

図2 壁を照射させると以下ようになる



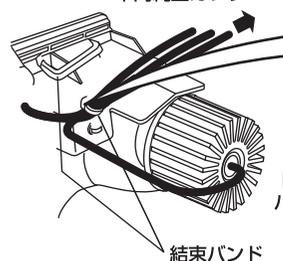
▶壁を照射させると、カットオフラインが確認できます。

●本紙、表面の**バルブの調整**に従って発光面を調整。



▶壁を照射させると、光が中心の集まり楕円状になります。

車両純正カプラーへ



注意

- LEDバルブ脱落防止のために…ハーネスを結束バンドなどで車両側と固定し、LEDユニットを固定します。
- ※固定の際に縛りすぎるとハーネスの被覆を破損して漏電するおそれがあります。

注意

- LEDバルブの取り付けは慎重に作業を行ってください。ランプをキズつけたり、LEDバルブを破損してしまうおそれがあります。
- 車種により本製品、及び純正部品等に多少の加工が必要となる場合があります。加工後の返品・クレーム等はお受けできませんので、加工の際は慎重に作業を行ってください

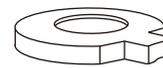
4.最後に

(1)上記のハーネス配線図を参照し配線を接続し点灯テストを行い正常である事を確認してください。

H7アダプター取り付けについて

1 フランジを取り外します。

H7アダプター



2 フランジにアダプターを取り付けます。

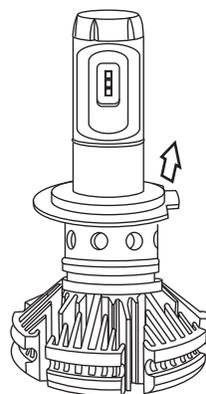


H7フランジ

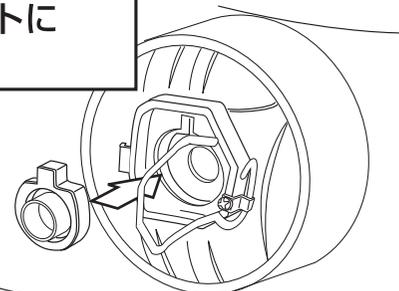
注意

作業の際にヘッドライトハウジング内にフランジ・アダプターを脱落するおそれがあります。予め、フランジとアダプターを市販の両面テープなどで接着しておく事をおすすめします。

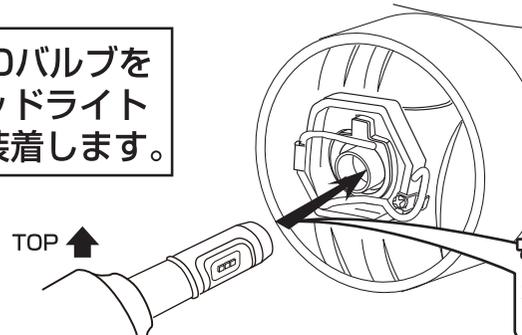
H7 LEDバルブ



3 フランジ&アダプターをヘッドライトに装着します。



4 LEDバルブをヘッドライトに装着します。



注意

LEDバルブをフランジへ挿入する際に天地を間違えるとキリカキのサイズが違います挿入できません。よく確認してください。



株式会社 デルタ

〒552-0007 大阪市港区弁天2-2-17
 TEL.06-6572-4433 FAX.06-6572-4434